

な～に谷っ戸ん田 3年目の27回目の記録
ソバの収穫とジャガイモの収穫

と き 平成21年11月21日(土) 9:10~16:45

ところ 瀬谷の畑

天 気 快晴

参加者 園主(テツさん)、石田、加藤、久保、佐々木夫・妻・ゆうくん、高橋、高見
松尾、百崎夫・妻・まるちゃん、吉田(14名、 は午前の参加)

【午前・8月29日に蒔いたソバを収穫】

9:10から久保さん、その後石田さんが加勢して、な～に谷っ戸ん田のポニー(は商品名で、全国的にはハザ(稲架)、横浜北部方面では掛け干し(の足場)と言う)をばらして運んだ。9:45に谷っ戸ん田から青の軽トラ(テツさん)、グリーンのワゴン車(石田、久保、高見、松尾、吉田、高橋)出発、佐々木一家は自転車、加藤さんは米軍通信基地を徒歩で回りながら基地問題を考えつつ百崎一家に拾われて瀬谷の畑に到着。10時半作業開始

倒れ気味のソバを鎌にて刈り取る。予想以上にソバの実が落ちるため、持って行ったポニーは使わず、谷っ戸ん田に運んで乾燥させることにした。ソバは、ツムランド入り・手播きエリアの方が幹が太く立っていた。肥料の効果か播き方が、たぶん前者と思われる。途中1回の休憩をはさんで、午前中に7割がた終了した。

【昼食・畑で】

昼食は畑にて摂る。弁当持ってこない人の分は買い出しに行く。

その先の奥の田んぼでNPO団体がコンサートの準備をしていて、ひやかしがてら覗く。コンサートは15時から三線(サンシン)バンドだった。コンサートは畑で作業しつつみんな聴いた。アサトヤユンタ、シマンチュヌタカラなど・・・。マルちゃんと優くんは、終了後に参加(?)していたね。

【午後・ソバの収穫と搬送、8月29日に蒔いたジャガイモを収穫】

刈り取ったソバを畳紐で結束してダンブカーに積み込む。ダンブカーには実が落ちてもいいようにブルーシートを敷いた。満載したソバをテツさんの直売所裏のハウスに運んで並べる。運び手はテツさんと高見、高橋。

ダンブで運んでいる間に残りのソバの結束とジャガイモの収穫を行う。ジャガイモの品種はキタアカリ、軍手をはめた素手で掘り起こした。収穫量は肥料袋に12袋合計約120kgと思われる。畝は全部で9列あり3列収穫したが、まだ、普賢丸とアンデスレッドが残っている。

ダンブが戻り、1回目と同様に結束したソバを積み込む。ジャガイモはグリーンワゴン車で運んだ。

ダンブ2台目のソバをハウスに敷く(16:30)。ジャガイモは下の作業小屋に降ろした。

【その他】

今日はお土産にキャベツ・カリフラワーをいただく。

堆肥の中にはカブトムシの幼虫がたくさんいた。シュレーゲルアオガエルもいて高見さん喜ぶ。

次回作業予定: 11月23日(勤労感謝ディ)9:30~ 瀬谷の畑で麦撒き

【記録: 高橋広明】